

1. 件名：電源開発株式会社大間原子力発電所の地震等に係る新規規制基準適合性  
審査に関する面談

2. 日時：令和4年2月22日（火） 11時40分～12時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部 地震・津波審査部門 大浅田安全規制管理官、岩田安全管理調査官

電源開発株式会社 杉山取締役副社長執行役員※、他1名※

5. 議事要旨

- (1) 電源開発株式会社から、現在申請中の大間原子力発電所の新規制基準適合に係る設置変更許可申請の審査について、審査会合及びヒアリングの頻度を増やして欲しいこと、敷地内の地質・地質構造に関するシームの評価にあたっての現地調査には、トレンチの整備が必要なことから、例えば実施時期をあらかじめ5月頃に仮設定した上で審査を進める等により予見性をもって審査を進めさせて欲しいことについて要望があった。
- (2) 原子力規制庁から、大間原子力発電所の基準地震動や基準津波の審査については、議論が収束しつつあると認識していること、審査会合をどのようなタイミングで実施していくのかについては、審査チームの意見を聞きつつ先を見通してあてはめていること、現地調査の実施時期については、審査の進捗を踏まえ審査会合で決めていくことになることを伝達した。また、審査にあたっては、先行審査での議論を反映すること、震源を特定せず策定する地震動のうち、岩手・宮城内陸地殻内地震の扱いについては、先行審査とは位置づけが異なるので、審査の中で議論したいのか、新知見としての技術的な議論をしたいのか考え方をまとめておくよう伝達した。

6. 提出資料  
なし